

年賀はがき・年賀切手により寄せられる寄附金が、 優しい社会を作ります。

「平成21年度助成事業事例」

ご紹介する事例は平成21年度の実績に基づく一例です。

年賀寄附金
助成事業

交通事故・ 水難事故防止

助成額：50万円(1団体)

水域利用者のための
小型船舶を利用した
水難救助

青少年の健全育成

助成額：6,361万円(39団体)

地域の地場産業活性化のための
若者むけのインターンシップ
調査事業など

非常災害時の 救助・災害の予防

助成額：667万円(5団体)

災害時の要援護者支援のための
地域ネットワーク台帳
及びマップ作成など

カーボン
オフセット
年賀寄附金
助成事業

高齢者・ 障がい者への福祉活動

助成額：3億5,299万円(210団体)

- 地域社会の福祉の増進と発展を目的とした「押し花メッセージカード」事業(世代間交流)
- 入浴機器・車椅子・授産事業用機器等の購入や施設改修など

地球環境の保全

助成額：1億5,141万円(12団体)

このうち7,630万円を
日本郵便が拠出しています。

- ブラジルにおける木質バイオマス発電
- インドにおける風力発電など

文化財の保護

助成額：441万円(3団体)

国登録有形文化財施設の
保全工事業
など

ご紹介した事業の他に、約1,784万円(8団体)が
助成されています。

寄附金付「年賀はがき・年賀切手」のお買い上げにより全国の皆さまから寄せられる年賀寄附金。昭和25年に始まり平成21年度で60周年を迎えました。この寄附金は平成21年度までに累計459億円にのぼり、社会福祉の増進、青少年の健全育成などの事業を行う団体に配分されてきました。また、寄附の目的を地球環境の保全を図るための「温室効果ガス削減への貢献」に限定した「カーボンオフセット年賀」を平成20年用として初めて発行。お寄せいただいた累計約3億円(日本郵便からのマッチング寄附金を含む)の寄附金は、クリーンエネルギー事業などに役立てられています。日本郵便は、皆さまからの期待にお応えするため、今後ともなお一層の努力をさせていただきます。年賀寄附金は「お年玉付郵便葉書等に関する法律」の規定に基づき日本郵便がお預かりし、総務大臣の認可のもとに配分を行います。

•年賀寄附金の詳細はこちら
www.post.japanpost.jp/kifu/

•カーボンオフセットの仕組みを
楽しみながら学べるウェブサイトはこちら
www.carbonoffset-nenga.jp/

•お問い合わせ先
年賀寄附金事務局 TEL.03-3504-4401/FAX.03-3592-7620
土・日・休日を除く10:00~12:00および13:00~17:00